



国民の森林・国森林

森林ふれあい情報

平成25年 7月
第 27 号

中部森林管理局木曾森林ふれあい推進センター
〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島1250-7
TEL:0264(22)2122 FAX:0264(21)3151
E-mail:kiso-fureai@rinya.maff.go.jp

城山の希少種等の個体調査

センターの主要な活動フィールドの一つである城山国有林の「城山史跡の森」にはヤマシャクヤク、カザグルマ、ササユリなどの県指定希少野生植物があり、個体の増減を毎年調査しています。

希少種ではありませんが、5月1日に群生が見られるカタクリの調査をしたところ、今年も可憐な花を咲かせ、花数は昨年よりも多い状況でした。



カタクリの花

5月16日に、ヤマシャクヤクの調査を実施しました。今年は天候も良く花数は昨年を上回り、若い株も育っています。



ヤマシャクヤクの花

5月28日に、カザグルマを調査しました。花数は昨年よりも多く、旺盛な成長をしています。

5月30日には、「城山史跡の森倶楽部」の会員の

人たちと、カザグルマを支える支柱の取替え作業を実施しました。

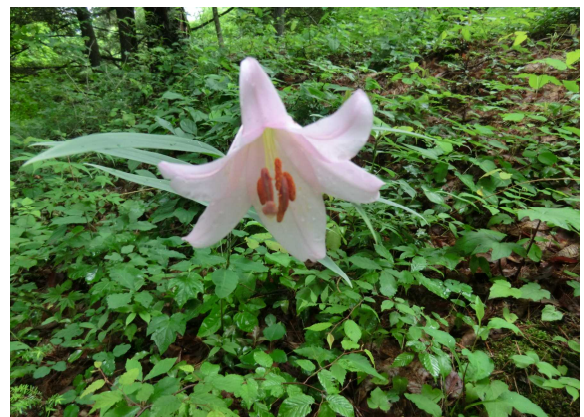


カザグルマの花



支柱の取替え作業

6月21日にササユリの調査を実施したところ、24株の着花が確認され、多くの花が見られました。



ササユリの花

地域と木曾川下流住民との 交流事業

木曾は、木曾川や愛知用水により、清らかな水の供給や、保健休養の場を提供するなど、下流域の中京圏と密接な関係にあります。

今年も、上流域の森林を守り育む活動の一環として、名古屋市民による「平成の名古屋市民の森づくり」作業が5月11日に木曾町の町有林で行われ、朝から雨となり足元が滑る中、約180人が上木カラマツの間にヒノキ・カエデ等を植樹し、当センターも植樹等の指導を行いました。



植樹する名古屋市民

植物観察会参加

当センターも共催している城山史跡の森倶楽部主催の植物観察会が4月29日にあり、県内外約20人の参加者は、春の芽吹き始めの森林で植物観察を楽しみました。

当観察会は、毎年、木曾町福島の「城山史跡の森」(福島城跡一帯の国有林、県有林、寺社有林を総称)で行われているもので、当日は、植物に詳しい県植物研究会員の講師の案内で約8キロを散策しました。

参加者は、スマレ、リンドウ等ちょうど花が見ごろの50種程の草本の特徴を熱心に学びました。



講師の説明に聞き入る参加者

史跡の森遊歩道整備・青峰高校生より寄贈されたベンチ設置

4月14日は、城山史跡の森倶楽部による「史跡の森」遊歩道等の整備とベンチの設置作業が行われました。

この日は、長野県林業大学校生3人を含む総勢28人で、遊歩道に溜まった崩土さらいや地ならし等の遊歩道整備と、1月16日に木曾青峰高校3年生より同倶楽部に寄贈されたベンチを眺望の良い紅葉ヶ丘や三の丸城跡等に設置する作業を行いました。

新年度最初の作業となり、当センターからも4人全員が参加して倶楽部をサポートし、唐鍬を手に遊歩道の整備等に汗を流しました。



崩土さらい



ベンチの設置

森林ボランティア作業支援

NPO法人「地球緑化センター」では、市民参加による森づくりを進めていくことを目的に、平成8年、上松町赤沢国有林に協定による「ふれあいの森」を設定して以来、毎年森林整備を実施しています。

「赤沢・樹齢300年の森林づくり」をスローガンに本年度1回目の森林整備が6月1日、2日の両日20名の参加者により実施され、樹齢約50年生の人工林ヒノキの間伐作業が行われました。

当センターは木曽署と連携を図り、作業の手順及び安全指導(伐倒の手順、かかり木の処理の仕方など)並びに器材の貸し出しを実施しています。

次回の森林整備は、9月7、8日に行われます。



ふれあいの森で間伐作業するボランティア

また、NPO法人「みどりの挑戦者」は木曽郡3町村と協定を結び、木曽川の水源地を守ろうと、町村有林の整備をしています。今年は発足から10年を迎えますが、6月8日に木祖村において「こだまの森」の除伐作業を実施しました。



木祖村のみどりの挑戦者 除伐作業

林業体験指導

上松町に所在する長野県上松技術専門校は、木工の技術を習得する単年度修学の職業訓練校ですが、林業への理解を深めるために、赤沢自然休養林傍の人工林で間伐作業を体験しました。

5月10日は40名の訓練生が、木曽森林管理署の職員の指導のもとで間伐体験をしました。当センターでも木曽署署員と連携を図り、伐倒の手順などの指導を実施しました。



主任森林整備官による伐倒手順の説明



間伐作業をする訓練校生



歩道等の整備に尽力された方々

水木沢天然林に新遊歩道

5月17日、木祖村の笹川支流「源頭の森」に通じる遊歩道が完成し、関係者や住民約40人が歩き初めをしました。平成20年に環境省の「平成の名水百選」に選ばれ、3年前、小木曽国有林に沢の源頭部を発見し、観光客も訪れることができるように村などが2年以上をかけて歩道を整備し「源頭の森コース」がオープンしました。



最初の一筋を味わう参加者



源流部への新しい案内標識

新名称「木曽森林ふれあい推進センター」



新しい歩道の歩き初め



看板左 近藤 所長

新メンバー

よろしく、お願いします

左から 小林、桂川、(所長)、花井